④道徳性・規範意識の芽生え	友達と様々な体験を重ねる中で，してよいことや悪いことが分かり，自分の行動を振り返ったり，友達の気持ちに共感したりし，相手の立場に立って行動するようになる。また，きまりを守る必要性が分かり，自分の気持ちを調整し，友達と折り合いを付けながら，きまりをつくったり，守ったりするようになる。 順番を守ってなわとび遊びが楽しくなるようにしよう。 そのとき，〇〇さんは，どんな気持ちになったのかな。	・相手の気持ちを分かろうとしたり，遊びや生活をよりよくしていこうとしたりする姿を丁寧に捉え，認め，励まし，その状況などを学級の幼児にも伝える。 ・幼児が自分の言動を振り返り納得して折り合いを付けられるように，問い掛けたり共に考えたりし，幼児が自分たちで思いを伝え合おうとする姿を十分に認め，支える。	・相手の気持ちを考えたり，自分の振る舞いを振り返ったりしながら，気持ちや行動を自律的に調整し，学校生活を楽しくしていこうとする。
⑤社会生活との関わり	家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに，地域の身近な人と触れ合う中で，人との様々な関わり方に気付き，相手の気持ちを考えて関わり，自分が役に立つ喜びを感じ，地域に親しみをもつようになる。また，園内外の様々な環境に関わる中で，遊びや生活に必要な情報を取り入れ，情報に基づき判断したり，情報を伝え合ったり，活用したりするなど，情報を役立てながら活動するようになるとともに，公共の施設を大切に利用するなどして，社会とのつながりなどを意識するようになる。 わたしたちの幼稚園の周りには，いろいろな人がいて，いろいろなお店もあるんだね。	・幼児の関心に応じて，絵本や図鑑，写真，新聞やインターネットで検索した情報，地域の掲示板から得られた情報などを，遊びに取り入れやすいように環境に取り入れるなどの工夫をし，情報との出会いをつくる。 ・情報を集める方法や集めた情報の活用の仕方，そのことを周囲に伝える方法などがあることに気付くことができるようにし，幼児が楽しみながら体験できるようにする。	・相手の状況や気持ちを考えながらいろいろな人と関わることを楽しんだり，関心のあることについての情報に気付いて積極的に取り入れたりする。 ・地域への親しみや地域の中での学びの場を広げていく。
⑥思考力の芽生え	身近な事象に積極的に関わる中で，物の性質や仕組みなどを感じ取ったり，気付いたりし，考えたり，予想したり，工夫したりするなど，多様な関わりを楽しむようになる。また，友達の様々な考えに触れる中で，自分と異なる考えがあることに気付き，自ら判断したり，考え直したりするなど，新しい考えを生み出す喜びを味わいながら，自分の考えをよりよいものにするようになる。 いろいろな材料を使って，カメラを作ったよ。 いろいろな物を撮るぞ。	・環境の中にあるそれぞれの物の特性を生かしつつ，好奇心や探究心を引き出すことができるような状況をつくるとともに，それぞれの幼児の考えを受け止め，そのことを言葉にして幼児たちに伝えながら，更なる考えを引き出す。 ・幼児が意見や考えの違いに気付き，物事をいろいろな面から考え，そのよさを感じられるようにする。	・小学校生活で出会う新しい環境や教科等の学習に興味や関心をもって主体的に関わる。 ・探究心をもって考えたり試したりしながら，主体的に問題を解決する。

⑦自然との関わり・生命尊重	自然に触れて感動する体験を通して，自然の変化などを感じ取り，好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現しながら，身近な事象への関心が高まるとともに，自然への愛情や畏敬の念をもつようになる。また，身近な動植物に心を動かされる中で，生命の不思議さや尊さに気付き，身近な動植物への接し方を考え，命あるものとしていたわり，大切にする気持ちをもって関わるようになる。 さっき取れたイモと大きさ，形が全然違うな。 キャベツ畑でアオムシを見付けたよ。かわいいな。育て方を調べてみよう。	・園内外の自然の状況を把握して積極的に取り入れる。 ・幼児が好奇心や探究心をもって見たり触れたりする姿を見守り，ときには，幼児の体験していることや気付いたことを教師が言葉にして伝える。 ・飼育や栽培を通して単に世話をすることを教えるだけでなく，動植物への親しみや愛着といった命あるものをいたわり大切にする言動を称賛する。 ・幼児と一緒に調べたり，幼児たちの考えを実際にやってみたり，そこで分かったことや適切な関わり方を，学級の友達に伝えたりする機会をつくる。	・自然の事物や現象について関心をもって関わるとともに，その面白さや不思議さに気付く。 ・実感を伴って生命の大切さに気付いたり，生命あるものを大切にし，生きることのすばらしさについて考えたりする。
⑧数量や図形，標識や文字などへの関心・感覚	遊びや生活の中で，数量や図形，標識や文字などに親しむ体験を重ねたり，標識や文字の役割に気付いたりし，自らの必要感に基づきこれらを活用し，興味や関心，感覚をもつようになる。 来たお客さんに，何を売っているか分かるようにするために看板を作れば，たくさんのお客さんが来てくれるのではないかな。 	・一人一人の数量や図形，標識や文字などとの出会いや関心のもちようを把握し，それぞれの場面での幼児の姿を捉え，その活動の広がりや深まりに応じて数量や文字などに親しめるよう，工夫しながら環境を整える。 ・一人一人の発達の実情などに即して，関心がもてるように丁寧に援助するとともに，数量や文字などについて，単に正確な知識を獲得することを目的にするのではないことに十分留意する。	・小学校の学習に関心をもって取り組み，実感を伴って理解する。 ・学んだことを日常生活の中で活用する。
⑨言葉による伝え合い	先生や友達と心を通わせる中で，絵本や物語などに親しみながら，豊かな言葉や表現を身に付け，経験したことや考えたことなどを言葉で伝えたり，相手の話を注意して聞いたりし，言葉による伝え合いを楽しむようになる。 飛行機の作り方教えて。 いいよ。まずは，ここを，こんなふうに折り曲げるんだよ。 これください。 ありがとうございます。20 円になります。	・伝えたくなるような体験をすることや，遊びを一緒に進めるために相手の気持ちや行動を理解したいなどの必要性を感じるようにする。 ・状況に応じて，言葉を付け加えるなどして，幼児同士の話が伝わり合うようにする。 ・絵本や物語の世界に浸り込むことで，豊かな言葉や表現に触れられるようにしたり，教師自身が豊かな表現を伝えるモデルとしての役割を果たすことで，様々な言葉に出会う機会をつくったりする。	・友達と互いの思いや考えを伝え，受け止めたり，認め合ったりしながら一緒に活動する。 ・自分の伝えたい目的や相手の状況などに応じて言葉を選んで伝えようとする。

⑩豊かな感性と表現	心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で，様々な素材の特徴や表現の仕方などに気付き，感じたことや考えたことを自分で表現したり，友達同士で表現する過程を楽しんだりし，表現する喜びを味わい，意欲をもつようになる。 材料に色を塗ってるうちに，自分の体にも色を塗ってみたくなったんだ。自分をロボットみたいにするぞ。 運動会で発表した踊りをまたみんなでやろうよ。 自分たちで動きを作ってみるのも楽しそうだね。	・一人一人の幼児が様々に表現する楽しさを大切にするとともに，多様な素材や用具に触れながらイメージやアイデアが生まれるように，環境を整える。 ・幼児同士で表現を工夫しながら進める姿や，それぞれの表現を友達と認め合い，取り入れたり新たな表現を考えたりすることを楽しむ姿を十分に認め，更なる意欲につなげる。	・学習において感性を働かせ，表現することを楽しむ。 ・自分の気持ちや考えを一番適切に表現する方法を選ぶ。 ・臆することなく自信をもって表現する。

（５）架け橋期のカリキュラムの作成

架け橋期のカリキュラムの検討・開発についての例を以下に示しています。

なお，本ガイドラインで示す架け橋期のカリキュラ枠についても，一例として示しています。各市町村や校区の実態に応じて，項目やレイアウトなどについては変更して使用してください。

架け橋期のカリキュラム作成の手順

① 「期待する子供像」を設定する。
（市町村，校区において，どのような子供を育てたいのか話し合う。）

② 特に関連のある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を見いだす。（①の子供像と，特に関連のある「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を明らかにする。）

③ 活動や配慮事項等について共有する。
（「期待する子供像」と「特に関連する幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を意識しながら，「園所で展開されている活動や小学校の生活科を中心とした単元構成」，「配慮事項」，「共通した取組」等を共有する。）

【参考文献】
○ 幼稚園教育要領解説〈文部科学省，平成 30 年3月〉
○ 小学校学習指導要領解説生活編〈文部科学省，平成 29 年7月〉
○ 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）〈文部科学省，令和4年 3 月〉
○ 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引きの参考資料（初版）〈文部科学省〉
○ 保幼小この育ちをつなぐ黄金っ子架け橋サポートガイド〈沖縄県教育庁義務教育課，令和5年10月〉
○ 育ちと学びをつなぐ～横浜版接続期カリキュラム～〈横浜市こども青少年局・横浜市教育委員会，平成30年3月〉
○ 「かけがわ型架け橋カリキュラム」作成に向けて～幼児教育を学校教育へつなぐ～〈掛川市教育委員会，令和5年3月〉

■□■□ 鹿児島県版 架け橋期のカリキュラム枠（作成例） ■□■□

枠については，一例として示しています。各市町村や校区の実態に応じて，項目やレイアウトなどについては変更して使用してください。

鹿児島県版 架け橋期のカリキュラム

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	①健康な心と体 ②自立心 ③協同性 ④道徳性・規範意識の芽生え ⑤社会生活との関わり ⑥思考力の芽生え ⑦自然との関わり・生命尊重 ⑧数量や図形，標識や文字などへの関心・感覚 ⑨言葉による伝え合い ⑩豊かな感性と表現

共通の視点	5歳児 4月～7月	5歳児 8月～12月	5歳児 1月～3月	小学校1年生 4月～7月	小学校1年生 8月～12月	小学校1年生 1月～3月
期待する子供像	（決定の仕方） ・ 幼小で協議し，「期待する子供像」を話し合って決定する。 小（または中）学校区で目指す姿が決まっていれば，そこに向けて，小学校卒業時は…，幼児教育施設卒園時は…と遡って考えていくと考えやすいと。 （期間） ・ 幼児教育施設から小学校卒業まで。 難しければ，せめて5歳児～1年終わりまで。どのような姿を目指し，つながりの中で子供を育んでいるという共通理解をする必要がある。			それぞれの校区において「期待する子供像」を明確にする。		
関連のある幼児期の終わりまでに育ってほしい姿	友達と思いや考えを伝え合い，受け入れる。（③，④，⑨） 友達と共通の目標に向かって最後まで粘り強く取り組む。（②，③，⑨） 好きな遊びを見付け，安全に気を付けながら楽しむ（①，⑦）			「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と関連付けて，特に表出するであろうと考えられる具体的な子供の姿を書く。		
遊びや学びのプロセス	様々な考えに触れ，感じたことや思ったことを自分なりに表現する。 試したり，考えたりしながら自分なりに遊びを意味付ける。 試したり，考えたりしながら自分なりに遊びを意味付ける。 興味をもって自分から環境に関わる。			子供に表出させたい遊びや学びの姿を具体化する。		
園で展開される活動／小学校の生活科を中心とした各教科等の単元構成等	春の自然観察①⑦ 母の日・父の日プレゼント作り④⑤ 七夕集会 ⑦⑩ 敬老の日プレゼント④⑤⑨ 運動会 ①②③⑨ 秋の収穫祭 ③⑦⑧ おゆうぎ会 伝承遊び ①⑤			教育活動や行事，教科等を配置する。また，可能であれば「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」との関連を明確にする。		
配慮事項 指導上の 先生の関わり	「どうだった？」「何でそうしたの？」など気付きを自覚化することができるような声掛けをする。	子供同士で対話し，考えを出し合って新たな考えを作り出す場を表出させるために，状況に応じて見守る姿勢を大切にする。		育ってほしい姿を表出させるための声掛けや関わり方を記載する。		
配慮事項 指導上の 環境構成 環境づくり		試行錯誤したり，工夫したりすることができるように，できるだけ多くの材料や道具を準備する。	すごろくやかるた，カードゲームなど文字や数量に触れる機会が多くなるような教材を準備する。	育ってほしい姿を表出させるための環境構成の工夫や配慮事項等を記載する。		
子供の交流	○○小学校1年生との交流活動（学校探検） ○○幼稚園の園児来園（一緒に遊ぼう） ○○幼稚園との合同遠足 ○○小学校2年生との交流（おもちゃラン			他園や保育所，小学校との交流活動などの計画を記載する。		
職員の交流	第1回幼保小連絡協議会 ○○小学校授業参観 ○○市幼稚園教諭等研修会 ○○保育園保育参観 第3回幼保小連絡協議会			他園や保育所，小学校の先生方との交流活動などの計画を記載する。		
家庭や地域との交流	登降園時、個人懇談会、クラスだよりなどを通じて子供の様子や成長を伝え、子育ての悩みや就学に向けての不安を解消する。 掲示板や配布物で、就学前施設の取組を伝えていく。 就学に向けて生活習慣が身に付くように、園と家庭で子供の姿を共有する。			家庭や地域との連携に関する具体的な取組等を記載する。		
評価				計画や実践を振り返り，気付きや改善案，次年度に向けた取組等を記載する。		